
広報委員会研修報告書

高橋 裕子

日時：令和5年8月24日 13時～

場所：全国町村議員会館（千代田区）

今回は、広報のクリニック（先生による添削）をお願いしていたので、城里町の議会だよりをどのような指摘があるのか恐怖もありました。毎回、広報委員会で集まり議論を重ね町民目線で広報を作っていたつもりでしたが、文字数が多い。フォントが見辛い。余白が多い。議事項目が多い。などの指摘があり、さらに、提出した号は私が編集後記を担当しましたが、「で？」の一言で添削が終っていて、残念な結果でした。写真の大切さ。余白を埋める方法。見出しの重要性。読み易いフォント。文章の配置。専門用語を使わないなど、細かく教えて頂きました。短い時間ではありましたが、今後の参考になる研修会でした。ページ数は以前から基本的に変わっていないので、ページ数を減らす事も読み易さに繋がるのではないかと。ガラガラと書いている訳ではないが、それも手に取り読んでもらえない原因の一つなのかもしれません。もう一度、読む側の気持ちになって、こちらの押し付けにならないように作り上げていきたいと思えます。